

1989年(平成元年)

9月1日号
No. 550

広報

あしや

芦屋市の人口と面積

(平成元年8月1日推計人口)

人口総数 87,916人 世帯数 32,114
男 41,215人
女 46,701人 面積 17.31km²

発行

芦屋市役所(公聴広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号
毎月1日・15日発行

住宅

戦後の本格的な復興として、広島・長崎両市をはじめ、東京・京都・横浜などが都市の性格を生かした特別法を制定し、都市建設のピッチを早めていた。当時、本市は、約四万三千人の小さな都市であったが、外国人の定住を図り、近隣の観光・文化資源の利用開発の「基地としての住宅都市」に重きをおかれ、昭和二十五年十二月の第九回国会で、芦屋国際文化住宅都市建設法が可決された。翌年二月の住民投票によって成立し、二十六年三月三日に公布された。

監修：大森一樹(映画監督)／撮影：山口 宏(写真家)



敷地内に藤棚のある県公社芦屋春日団地(昭和26年建設)

芦屋物語

●建物を通してみる芦屋と歴史

庶民の住み心地

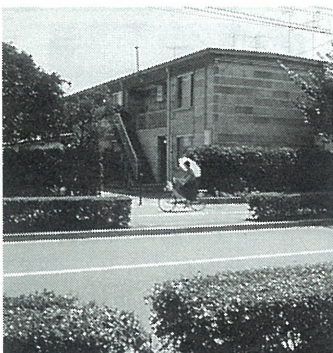
城 千枝

ふるような蟬(せみ)時雨である。ところどころ爽(きょう)竹桃の紅い花を点綴(てんてい)させながら、渦巻きたつ緑の炎のクスの木の並木道を歩いていると「ああ、芦屋はまだこんな素敵な空間に恵まれているのだな」と、思わずつぶやいてしまう。

わが芦屋を「国際文化住宅都市」との呼称をいただいているが、わたしの場合、さして新しくもなくおまけに家賃もあまり安いとは言えないアパートの一住人にすぎないから、見るからに快適でモダンなデザインの公共住宅群などを眺める眼差しにはひとしお熱い想(おも)いがこもるわけだけれど……。でも、このハングリーな状態に身をゆだねている限りは、孤独の中からつむぎ出す詩心のようなものが、現在のわたしを、わたしらしく生きさせてくれる原点なのかも知れない。

わたしは変えられない現状に鬱屈(うつくつ)しているよりは、ヒラリと想念を切り替えてみる。一九七〇年代のある初夏、わたしはサマルカンドを訪れた。シルクロードの古都であるが、雨量の少ないこの都の一般庶民は、各自が泥をこね木枠で固め、天日に乾しただけの素朴な日乾し煉瓦を積み上げた家屋に住んでいる。砂漠の砂嵐や炒(い)りつく太陽の照り返しを避けて、窓は極端に小さく、少ない。風が運んできたのか、偏平な土の屋根に真ッ赤なポピーがゆれていた。その風景を眺めていると、「所詮、人間は土に生き、土に還ってゆく存在なのか」と、とても素直で無欲な心境になった。だが中近東という乾燥大陸でいともまれる住居は、やはりその風土が育てたものにはかならないのである。

ふと眼を転ずれば、夕闇せまる六甲山系の山麓から山頂にかけて、点在し明滅する人家のあかりがあたかく語りかけてくる。ところどころ天の川の星屑(くず)のようにむらがり煌(きら)めいているのは団地棟の所在であらう。芦屋の美しい風や光につつまれて、この街に住む縁(えにし)を大事にして、お互いの人生を美しく老いてゆきたいものである。



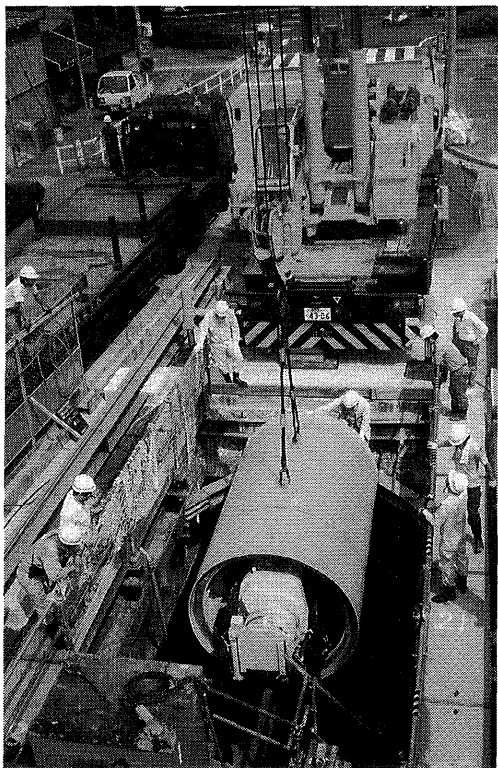
石造りブロック2階建て宮塚町市営住宅(昭和27年建設)

じょう・ちえ 一九一八年生まれ。
随筆家。詩人。南宮町在住。

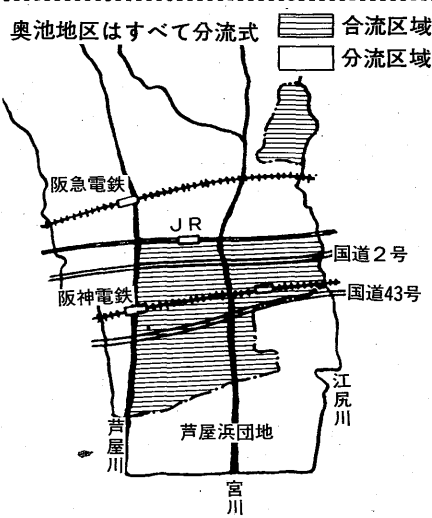
＝9月10日全国下水道促進デー＝

暮らしを支える下水道

古くなった下水道管の改修工事を進めています



63年度に施工された呉川町下水管きよ改修工事



奥池地区はすべて分流通域
合流区域
分流通域

下水道管の改修工事は、五十九年度に伊勢町から着手し、今年度は新たに宮川町を施工中です。また、松浜町は、六十三年中から始め、現在も施工中です。来年度からは、精道町、川西町でも改修の計画をたてています。

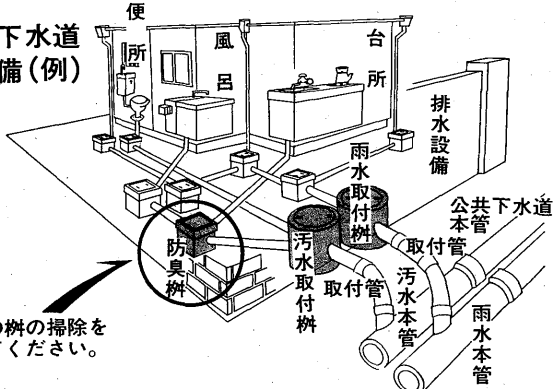
宅内排水 にご注意

分流通域の場合は、下水道管は汚水分だけの大きさしかありません。ですから誤って汚水管に雨水を接続しますと、雨が降ったときあふれる恐れがあります。雨水は必ずそのまま側溝や水路に流しましょう。

下水道管がつまったら

風呂場や台所からの雑排水が集まると、下図のところに防臭柵(会所)があります。この柵には常時水がたまり、悪臭が逆流して室内に入り込むのを防いだり、ごみや油が下水道本管へ流れ込んだりするのを防ぐ役目があります。家の中で下水道管がつまると、あふれる原因のほとんどはこの場所です。

分流通域下水道排水設備(例)



公道部分の下水道管の場合…取付柵から道路側(取付柵は含まない)は市が管理します。宅地の中の下水道管(排水設備)の場合…取付柵から宅地側(取付柵を含む)は、各家庭で維持管理してください。工事は、各市指定排水設備工事店へご連絡を。

平成2年度採用



市職員募集

受け付けは9月8日(金)まで

来年は市制50周年を迎える記念の年です。創造力の富んだやる気のあるあなたを待っています!

- 試験日時 10月1日(日) 午前9時から
- 試験会場 市役所分庁舎3階大会議室
- 問い合わせ 市人事課(☎2121内線286)

職種	学歴	受 験 資 格
事務	大学卒 (6人)	①昭和40年4月2日以降出生の人(平成2年3月卒業見込みの人を含む) ②身体障害者で、昭和39年4月2日以降出生し、下記※の要件をすべて満たす人(平成2年3月卒業見込みの人を含む)
事務	高校卒 短大卒 (2人)	①昭和43年4月2日以降出生の人(平成2年3月卒業見込みの人を含む) ②身体障害者で、昭和39年4月2日以降出生し、下記※の要件をすべて満たす人(平成2年3月卒業見込みの人を含む)
技術 (機械)	高校卒 (1人)	昭和43年4月2日以降出生の人で、機械系の専門課程を修了した人(平成2年3月卒業見込みの人を含む)
消防	大学卒 短大卒 高校卒 (2人)	昭和40年4月2日以降出生の人で、次の要件を満たす人(平成2年3月卒業見込みの人を含む) ・身長160cm以上で体重50kg以上、胸囲は身長2分の1以上 ・ほかに視力・聴力の条件あり

※身体障害者の受験(事務職)
・身体障害者手帳の交付を受けている人
・自力で通勤でき、介護者なしに勤務が可能の人
・活字印刷文による出題に対応できる人

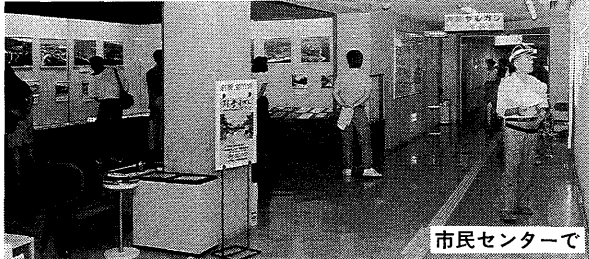
'89グラフィックを発行

希望者に無料配布します



市では、このほど冊子「'89グラフィック」(B5版・三十二ページ)を発行しました。内容は、今年六月オープンしたばかりの旧山邑家住宅を中心に、洋館・今も残る農村風景・駅前再開発など写真八十点で紹介しています。希望者には、市公聴広報課、ラポルテ

- ### 九月市議会 定例会の日程
- 九月の定例会は七月に招集され、次の日程で本会議・常任委員会が開かれる予定です。
- ▽七日(木) 本会議
 - ▽八日(金) 常任委員会
 - ▽十一日(月) 十三日(水) 常任委員会
- 九月の定例会は七月に招集され、次の日程で本会議・常任委員会が開かれる予定です。
- ▽十九日(火) 本会議
 - ▽二十日(水) 本会議
 - ▽二十一日(木) 本会議
- なお、この日程は変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 問い合わせは、市議会事務局(☎2121内線552)へ。



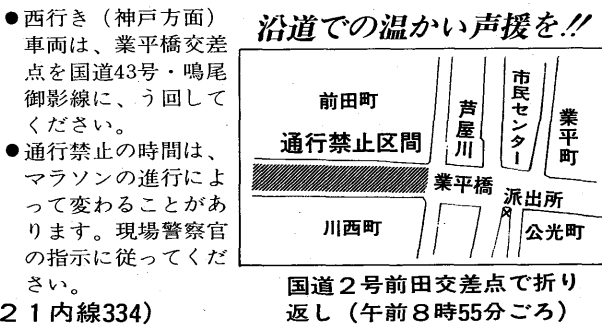
市民センターで

フェスピック神戸大会 41カ国参加 車いすマラソン

- 沿道に応援用小旗が用意してあります。小旗をふって選手を励ましてください。
- 選手通過中は、コースに出たり、横断したりしないでください。万一、選手が転倒したりしてもコース上に出て助けようとして手を触れたりしないでください。選手が失格になります。

問い合わせ 市保護課障害福祉係 (☎2121内線334)

交通規制のお知らせ
9月17日(日)8:20~10:30の間、国道2号業平橋から三宮交差点までの通行禁止を行います。



沿道での温かい声援を!!

国道2号前田交差点で折り返し(午前8時55分ごろ)

敬老会

- 日時 9月14日(木)
- ①9時30分~11時30分
 - ②12時30分~14時30分
 - ③15時30分~17時30分
- 会場 ルナ・ホール

催し
＜1部＞ 式典
＜2部＞ 演芸
演芸内容/奇術(一陽斎蝶・ミッチー恵)、歌謡ショー(市ひな)、浪曲(真山一郎)

- 対象は大正9年以前生まれのかたです。
 - 9月上旬に案内状を送ります。
 - 当日は、案内状をご持参ください。
- 問い合わせ 市高年福祉課(☎2121内線338)

あなたのお宅では、災害の備えは万全ですか。
災害時の避難場所は、市広報板に誘導標識を掲示
しています。近くの避難場所を確かめておきまし
ょう。
市消防本部警防課 (☎2345)

新たなことを学び、自らの世界を広げる

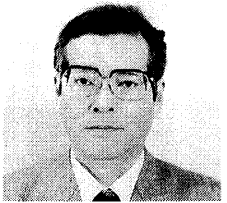
講師の都合で日時等の変更があるときは、ご了承ください。問い合わせは、市立公民館（業平町8-24、市民センター☎04995）

講座名	講師（敬称略）	日時・会場	講義内容・カリキュラム	定員・受講料
※教育問題講座 21世紀の主役 たちのために	神戸弁護士会少年問題対策委員長 野口 善国 神戸心療親子研究室主宰 伊藤 友宣 大阪大学助教授 池田 寛 芦屋市立小・中学校教諭 岩見 和彦 関西大学助教授	10/9～11/20 月曜日を中心に10:00～11:30 全5回 ＜401室＞	▶いま子どもたちは ▶子どものシグナルをキャッチしよう ▶シャドウ・ファザーから脱却しよう ▶先生と一緒に考えよう ▶子どもの「育つ力」を伸ばそう	50人 500円 (託児あり)
※シリーズ昭和史 世相グラフィティ・ 映像と時代	大阪シナリオ学校校長 杉山 平一 映画評論家 増井 孝子 評論家 佐野 蓮箕 フリー・アナウンサー 小崎 くに子 関西大学教授 田宮 武 電通大阪支社ディレクター 伊志峰 正廣 ビジュアルA&T代表 竹内 義和 毎日放送特別顧問 前田 治郎	10/9～12/25 月曜日 14:00～16:00 全8回 ＜講義室＞	▶昭和と映像 ▶時代に愛されたスターたち ▶神戸と映画と人々 ▶女性（ヒロイン）たちの昭和 ▶街角から茶の間へ ▶見える・みえる・時代がみえる ▶まちに原っぱがあった頃… ▶ニュー・メディアの波と映像	60人 500円
※ボランティア養成講座 朗読ボランティア への招待	「あし笛」会長 北山 たか子 朗読の会「RST」会員 加藤 順子 ほか	9/27～3/7 水曜日、10:00～11:30 全12回 ＜講義室＞	▶朗読ボランティアとは… ▶朗読の基礎レッスン ▶朗読テーマができるまで ▶朗読の技術	30人 無料 (託児あり)
※同和教育講座 民話にこめられた “人々の思い”	伝承文化研究家 乾 武俊 茨木市立東奈良小学校長 大橋 忠雄	9/28～11/9 木曜日 10:00～11:30 全5回 ＜講義室＞	▶民話が生まれるとき ▶「きつね」が問いかけもの ▶「鬼」と呼ばれた人々たち ▶民話の「虚」と「実」 ▶民話のころ	50人 無料 (託児あり)
※国際理解講座 「天安門事件」とは 何だったのか	立命館大学教授 竹内 実 佛教大学教授 吉田 富夫 関西大学教授 石田 浩 京都大学外国人教師 クリスティン・ラムール 京都大学大学院生 李 衛東 弁護士 武村 二三夫 京都産業大学教授 小島 朋之	10/5～12/21 木曜日 14:00～16:00 全7回 ＜講義室＞	▶歴史的象徴としての“天安門” ▶北京学生と民主化運動 ▶経済の自由化をめぐる ▶“天安門事件”と留学生たちの波紋 ▶祖国よ！ ▶“天安門事件”と国際人権規約 ▶日中関係の未来	60人 500円
※政治学講座 選挙制度100年・ 私たちの課題	時事問題研究所所長 村津 清一 神戸大学教授 三宅 一郎 関西大学教授 上林 良一 京都産業大学教授 小平 修	9/29～11/13 金曜日を中心に10:00～11:30 全4回 ＜講義室＞	▶選挙制度100年の歩み ▶一票の重さと選挙区制 ▶政治資金と選挙運動 ▶日本の政治風土と選挙制度	50人 500円 (託児あり)
※日本思想史 儒仏思想の伝来 と国学	四天王寺国際仏教大学教授 龍藤 尊教 高野山大学教授 松長 有慶 佛教大学教授 池見 澄隆 国際日本文化研究センター教授 山折 哲雄 大阪大学教授 折子 宣邦	10/13～3/16 金曜日、14:30～16:00 全10回 ＜講義室＞	▶聖徳太子と「十七条憲法」 ▶空海と「三経指帰」 ▶源信と「往生要集」 ▶道元と「正法眼蔵」 ▶無常観の系譜 ▶藤樹と「翁問答」 ▶仁斎と「童子問」 ▶梅岩心学と「葉隠」 ▶宣長と「古事記伝」 ▶篤胤と「霊能真柱」	60人 1000円
※自然学講座 見つめ直そう！ 芦屋の自然	伊丹市立瑞穂小学校校長 藤本 一幸 菊池貝類研究所研究員 近藤 浩文 芦屋市立教育研究所 森 文員 神戸大学教授 田中 真吾 兵庫医科大学教授 朝日 稔 頤栄短期大学教授 福岡 誠行	10/7～11/25 土曜日、10:00～11:30 現地見学の日のみ 10:00～14:00 全7回 ＜講義室・301室ほか＞	▶芦屋と自然 ▶森は生きている ▶秋の美りを求めて（現地見学） ▶大地を探る ▶小動物の世界 ▶野生動物の世界 ▶自然はすばらしい	50人 500円 (託児あり)
※時事経済セミナー 見えてくる！時の動き	大阪外国語大学助教授 二宮 厚美 読売新聞大阪本社政経部長 田村 良宏 関西大学教授 足立 利雄	10/7～3/3 土曜日、14:00～15:30 全6回（月1回） ＜301・401室＞	▶時事経済解説	100人 500円
※芸術文化講座 世紀末芸術と現代	関西女子美術短期大学教授 細川 ただす メル・アーティスト 嶋本 昭三 建築評論家 大島 哲蔵 国際日本文化研究センター助教授 白幡 洋三郎	10/14～12/23 土曜日、14:00～16:00 全6回 ＜講義室・音楽室・図書館＞	▶世紀末と都市のデカダンス ▶ロートレックとムーラン・ルージュ ▶マラーとカラヤン ▶ガウディと世紀末のヨーロッパ建築 ▶エッフェルとパリ万国博覧会 ▶19世紀末芸術と現代芸術	60人 500円
※働くことを考える講座 中高年のあなたと 21世紀	六甲カウンセリング研究所所長 井上 敏明 大阪青山短期大学講師 昌子 昭三 神戸新聞社論説委員 久保 克彦 神戸大学教授 松浦 正樹 足立	10/4～10/27 金曜日、18:30～20:00 全4回、 初回のみ水曜 ＜講義室＞	▶中高年ストレス ▶若さを保つ食事学 ▶気になる年金の行方 ▶21世紀の社会と経済	40人 500円

「新たなことを学び、自らの世界を広げる」そんな楽しみを味わっていただくために、この秋も公民館では次の講座を用意して、皆さんのご参加をお待ちしています。芦屋の自然を見つめ直す「自然学講座」、映像をとおして昭和の世相について考える「シリーズ昭和史」、民話にこめられた人々の思いを考える「同和教育講座」、現代中国への理解を深める「国際理解講座」、多くの才能を輩出した19世紀末ヨーロッパの芸術を見つめ直す「芸術文化講座」、外来思想の影響と日本独自の“知”の世界を探る「日本思想史」など、11講座がスタートします。学びながら、出会いと発見の感動を味わってください。



記念講演会



関西大学教授 岡田至雄氏

◆日時：九月二十二日（金）十三時三十分より
五時十五分
○会場：市民センター四
○一室
◆費用：無料
◆託児：本館二階（無料）

◆記念講演
○テーマ：「レジャーの社会―生活にうるおいを―」
○講師：岡田至雄氏（関西大学教授）

申し込み

- ◆受け付け開始…9月8日（金）午前10時から。（定員になり次第締め切ります。なお、定員に余裕のある場合に限り、14日（木）から市外の人も受け付けます。）
- ◆受け付け会場…午前中は、市民センター401室（8日午後からは、市民センター事務室で受け付けます）
- ◆申し込み方法…来館または、はがき（希望講座名・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入）で。はがきの受け付けは、市内が9日、市外は15日からです。
- ◆受講料…受講料は全回通しの金額です。お支払い済みの受講料はお返しできませんのでご了承ください。
- ◆託児（無料）
○対象児童…昭和62年4月以前に生まれた幼児（2歳半以上）
○申し込み方法…必ず幼児同伴で申し込んでください。
○託児を行う講座…左表のとおり

開 会 式

日時 10月10日(火)
午前9時
会場 川西運動場

第42回

市民体育祭

市では、十月十日（火）の体育の日に、市民体育祭を開催します。子供から大人まで各年齢層に応じて、またご家族で気軽に参加していただける種目を組み入れていきます。さわやかな秋の一日、スポーツでお楽しみください。

10月10日
体育の日

種 目	会 場	内 容（参加対象・試合方法）	申し込み先（問い合わせ）	雨天のとき
登 山	右欄のコース	△川西運動場→会下山→蛙岩→風吹岩→荒地山→芦有ゲート→芦屋川・本谷→開森橋（解散16:30）	当日開会式時に受付 ＜問い合わせ＞ 大山☎31-1923	中止
ヨ ッ ト	県立海洋体育館	△小学4～6年、中学生、10時から簡単なヨット講習（ぬれてもよい服装を） 先着20人	福隔（若葉町7-2-824） ☎34-2898	中止
庭 球	芦屋庭球場	○一般男子（先着60組） 一般女子（先着40組） ダブルストーナメント戦（白い服装を用意）	植垣（松浜町4-4、ローンテニスクラブ、☎22-3852）	中止
ソフトボール	川西運動場・その他（9/24・10/10）	○一般男子、一般女子のトーナメント戦	本城（精道町7-6、市用地管財課内、☎31-2121内線253）	延期（10/29）
バドミントン	体育館・青少年センター（10/8）	○親子ファミリー大会 △初心者講習会（10/8）	当日会場で9時から ＜問い合わせ＞ 松浦☎32-0922	実施
卓 球	体育館・青少年センター	△少年、中学、高校、一般（29歳未満、30歳代） 40歳以上（ラージボールを使用） オープントーナメント戦	井口（大東町15-3） ☎22-8653	実施
弓 道	体育館・青少年センター	△午前中、大的を使用して気軽に弓引き	当日会場で ＜問い合わせ＞ 井上☎22-5819	実施
サ ッ カ ー	中央公園芝生広場、県立芦屋南高校（10/8・10/10）	△市民ボールけり大会（どこまでできるか？ 13時30分から中央公園芝生広場で）	当日会場で ＜問い合わせ＞ 山口☎31-8005	小雨実施
少林寺拳法	精道小学校体育館	△13時から一般市民を対象に少林寺拳法の体験実習	当日会場で ＜問い合わせ＞ 花木☎32-2247	実施
軟 式 野 球	中央公園野球場	△一般南軍（JR以南）と北軍（JR以北）の試合（35歳以上） ○親子大会（小学6年までと成人）	北軍・南軍共 山田☎32-1708 親子大会は当日会場で9時～12時 ＜問い合わせ＞ 是永☎22-8870	中止
バレーボール	潮見中学校体育館（10/10）	○一般男女混合6人制（男3人、女3人） △ソフトバレーボール大会	増田（春日町11-12、☎23-2830）	実施
ラ ゲ ビ ー	中央公園芝生広場	△「コンバート合戦」「ミニラグビーゲーム」	笹木（緑町1-3-502、☎31-3461）	小雨実施
バスケットボール	潮見中学校体育館（10/8） 県立芦屋高校体育館（10/10）	○一般	高市（剣谷9、市立芦屋高校） ☎32-1131	実施
剣 道	精道中学校体育館	△個人戦、少年・中学・高校→学年別、一般→段別 ○団体戦→中学	天王寺谷（伊勢町9-18） ☎31-0018	実施
軟 式 庭 球	岩ヶ平・東浜・西浜各コート（10/8・10）	○一般男女、壮年男女のトーナメント戦とリーグ戦	二宮（山芦屋町7-15） ☎34-0143	中止
柔 道	体育館・青少年センター	△小学1・2年、3・4年、5・6年、中学1・2年、3年、高校各学年別・段外 ○中学10人、高校7人団体戦	徳尾野（若宮町8-13） ☎22-5478	実施
体 操	県立芦屋南高校体育館	△少年、中学、高校、種目別、個人総合	東原（宮川町6-3、県立芦屋高校） ☎32-2325	実施
親子マラソン	旧防潮堤ランニングコース	○親と子と手をつないで1.5kmを走る。スタートは13時30分、伊勢幼稚園にて	当日1時から会場で受付 ＜問い合わせ＞ 体育館☎31-8228	中止
陸 上	潮見中学校グラウンド	△○少年、中学、高校、一般、マスターズ。フィールド競技会	山根（船戸町3-10） ☎22-8171	中止
ゲートボール	精道小学校グラウンド	○一般、トーナメント戦	賀集（東山町29-34、☎23-2267）	中止

阪神くすの木学級芦屋教室受講生募集

- ★対 象…市内在住の15歳以上の聴覚言語障害者（原則として全回受講できるかた）
- ★定 員…40人（2歳半以上の託児を行っています）
- ★受講料…無料。ただし、保険料・料理材料費として500円。（交通費別）
- ★申し込み…9月14日（木）までに市保護課障害・福祉係（☎0492121 内線334、FAX31-4000）へ、来館・はがき・電話・FAXで。（住所・氏名・年齢・性別・電話番号・FAX番号を記入）

日 時	会 場	内 容	講 師
10月1日(日) 13:00～16:00	市民センター	開講式 ＜講演＞ 55年体制から89年体制へ ―参院選挙後、政治はどう動いたか―	神戸学院大学教授 谷口弘行氏
10月15日(日) 13:00～17:00	市民センター 芦屋カンツリー倶楽部	たのしいゴルフ ―グリーンの上で交流を深めよう！―	＜実技指導＞ 関西聴力障害者ゴルフクラブ代表 森脇 弘氏ほか
11月12日(日) 13:00～16:00	現 地	水と酵母の神秘を学ぶ ―菊正宗酒造記念館見学―	菊正宗酒造記念館職員
12月10日(日) 10:00～15:00	伊丹市立中央公民館	阪神北くすの木学級（伊丹教室）との交流会 ―ゲーム、手話漫才・劇、新体操などを楽しむ―	公民館職員
12月23日(土) 14:00～17:00	市民センター	もちつきとすぐできる料理 ―実習・パーティー―	＜実習指導＞ 芦屋市福祉部職員
1月21日(日) 13:00～16:00	市民センター	＜講演＞ 手話通訳士制度の現状と課題について 閉講式	日本福祉大学非常勤講師 伊東萬祐氏

第11回定期演奏会 芦屋少年少女合唱団



9/23(土) ルナ・ホール
13:30開演(入場無料)

曲目：少年少女のための合唱組曲
「風の馬にとびのって」ほか愛唱歌
団長／住吉武 指揮／玉置喜美男、森岡雄二、
奈良克子 特別出演／加藤悦子
問い合わせ 市民センター文化事業係（☎04995）

芦屋市民絵画展

会期 9月9日(土)～17日(日)
火曜日休館、日・祝日17時
平日9時～21時30分、最終日15時
会場 市民センター(ロビーA・B)



問い合わせ 市民センター文化事業係（☎04995）
市民のかたの絵をご覧ください

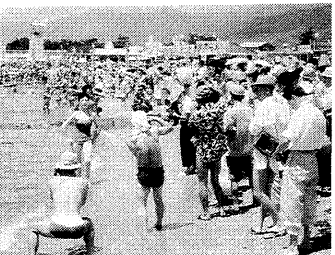
広報あしや物語 ②6

昭和26年～昭和30年

海水浴場の始まりは打出浜

市では、九月四日まで市民センターで、「芦屋今むかし」写真展を開催中です。百三十点の写真の中で、水着撮影コンクール（昭和三十三年）の写真に今はなき海水浴場への懐かしさが注がれ、多くの足が止まっています。

関西で海水浴場が開設されたのは、打出浜が最初だそうです。阪神電鉄五十年史（昭和二十九年刊）に、当時八十六歳になる松浦充実氏が、「海水浴場のはじめは打出」と題して開設当時の話を披露しています。鉄が驚き大阪・浜寺に急ぎよ開設したといいますが、念ながら、三年目に西宮・香栢園浜に移されました。戦後は、昭和二十三年七月に市営海水浴場として再開され、埋め立て前の三十八年まで続きました。途中、二十八年から大阪読売新聞社が共催し、三十年から商工会・観光協会などが市に代わって主催しました。最盛時、ひと夏三十四万人の入出があったといわれます。



昭和33年水着撮影会風景

保健
衛生

保健センター
公光町5-10 ☎01586
県保健所
公光町1-23 ☎020707
芦屋市医師会
公光町5-21 ☎02000
芦屋市歯科医師会
公光町4-29 ☎06471
衛生総務課管理係
精道町5-11 ☎02121
内線352
環境衛生課
浜風町31-1 ☎02155
環境施設課
浜風町31-1 ☎05391

市民健康診査

みなさん受診を
心電図・貧血・
血糖検査も実施

市民健康診査は、十六歳以上の市民が、健康診断を受けることが出来ます。また市内にお勤めのかたも受診できます。今年から四十歳以上のかたには、心電図・貧血・血糖検査(後日健診料四百円納入)を加え、市民の健康づくりを進めるため、芦屋市三団体の協議会(広報委員会・環境衛生協会・町内自治組織連合会)にもご協力いただき、市民健康診査の受診を呼びかけていたっています。この機会にぜひ受診ください。問い合わせは、保健センターへ。

健診内容 ①胸部レントゲン②尿検査(前日の夕食後2時間ごろに、よく洗った瓶に採尿し持参)③血圧測定④問診⑤身長・体重測定⑥聴打診⑦血液検査(検査前3時間は絶飲絶食で)⑧肺がん検診(必要なかたには、かくたん検査<900円>)⑨心電図⑩貧血検査⑪血糖検査 ※⑥～⑪は40歳以上のかた

月・日(曜)	会 場	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～3時30分
9・4(月)	〈午前〉①浜 風 集 会 所	
11(月)	〈午後〉②保 健 セ ン タ ー	
18(月)	〈午前〉③芦 屋 保 健 所	
22(金)	〈午後〉④西 山 幼 稚 園	
25(月)	〈午前〉⑤竹 園 集 会 所	
28(木)	〈午後〉⑥春 日 集 会 所	
29(金)	〈午後〉⑦山 手 幼 稚 園	
10・6(金)	〈午後〉⑧ラ ポ ル テ 西 館 3 階	
9(月)	〈午後〉⑨日 吉 神 社	
11(水)	〈午後〉⑩翠 ケ 丘 集 会 所	
17(火)	〈午後〉⑪宮 川 幼 稚 園	
20(金)	〈午後〉⑫伊 勢 幼 稚 園	
23(月)	〈午後〉⑬モンテメール1階駐車場	
24(火)	〈午後〉⑭芦屋くすのき住宅中庭	
26(木)	〈午後〉⑮コープ打出浜2階	
30(月)	〈午後〉⑯潮 見 小 学 校	
31(火)	〈午後〉⑰岩 園 幼 稚 園	
	〈午前〉⑱元 宮 宗 医 院 前 所	
	〈午後〉⑳芦 屋 保 健 所	
	〈午後〉㉑ウッドベッカー・イカリ	
	〈午後〉㉒朝 日 ケ 丘 幼 稚 園	

歯とあごと健康

市立芦屋病院 歯科主任医長 普天間朝健

ご関節に異常が生じてきます。人のあごが小さくなっても歯の大きさは変わりませんので、すべての歯が満ちて生えるだけのスペースが不足します。その結果、歯並びが乱れたりします。歯やあごに本来の機能を発揮させて健康な体をつくるには、バランスのとれた栄養を取り、食べ物を十分に噛み砕くことが大切です。



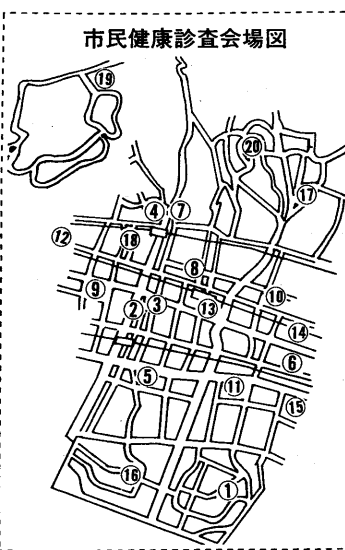
健康講座を開催

健康づくりの主役は市民一人ひとりで、健康診査は「受けつ放し」にしないで、健診で明らかにされた問題点を正しく理解し、結果によっては医師などのアドバイスに基づき守るよう心掛けてください。

●日時：九月八日(金)午後一時三十分～三時三十分

●会場：保健センター

●内容：「健診を生かす、健康生活について」講師 健所健康課へ。



アルコール依存症家族会

日曜・祝日救急当番医

内科 9時～17時

歯科 9時～12時

9月3日(日)・・・林医院<産婦人科>
松ノ内町4-5 ☎03333
10日(日)・・・平岡医院<産婦人科・小児科>
打出小槌町14-6 ☎03880
15日(金)・・・北岡医院<内科・小児科>
大槌町3-1 ☎03414
17日(日)・・・山田医院<内科>
南宮町11-16 ☎09351
23日(土)・・・富永医院<外科>
若宮町6-7 ☎06828
24日(日)・・・甲陽医院<産婦人科・内科>
松ノ内町3-2 ☎00003
10月1日(日)・・・石井医院<内科>
西山町11-17-202 ☎02810

9月3日(日)・・・若林歯科医院
船戸町4-1-407 ☎04882
10日(日)・・・渡辺歯科医院
船戸町3-5 ☎05939
15日(金)・・・和田歯科医院
津知町3-14 ☎00384
17日(日)・・・明石歯科医院
公光町9-6 ☎01560
23日(土)・・・有本歯科医院
春日町6-15 ☎01087
24日(日)・・・池沢歯科医院
松ノ内町3-9 ☎01780
10月1日(日)・・・石原歯科医院
親王塚町1-4 ☎01388

夜間在宅輪番
在宅当番医が待機しています。
▶時間：夜間(毎日)21時～翌7時
▶問い合わせ：消防本部 ☎02345

耳鼻いんこう科・眼科の急病診療
▶診療日：日曜日および休日
▶時間：9時～16時、眼科は正午まで
▶場所：尼崎医療センター(尼崎市水堂町3-15-20、☎06-436-8701)

まず かかりつけの医者へ

検診だより

9月1日
10月5日

保健センター (国道2号業平橋南へ150メートル)

内 容	日 程	時 間	対 象・経 費 等
ツベルクリン反応検査	4、10/2	14:00～15:30	3カ月～4歳未満児。母子健康手帳、予防接種つづり持参
ツ反判定・BCG接種	6、10/4		個別接種。無料
三種混合・M・M・R、はしか	委託医療機関にお問い合わせください。		
1歳6カ月児健康診査	21	13:00～14:00	S63.2.16～3.15生まれ。母子健康手帳持参。
母 親 学 級	13、20、27	12:45～16:00	妊産婦。母子健康手帳持参。テキスト代250円
小児ぜんそく等の健康相談(予約制)	21	14:30～15:30	6歳未満。医師・栄養士・保健婦による相談
肺がん検診(市民健診で実施)	11	13:30～15:30	40歳以上。胸部X線。かくたん検査(必要なかたのみ900円)
市 民 健 診	11	13:30～15:30	16歳以上。胸部X線・血圧・検尿(無料)、40歳以上。心電図・採血400円 絶飲絶食
健康チェック日(予約制)	%、%、% 予約受付中	9:15～	35歳以上。成人病予防10項目5,000円
貧 血 検 査	26	9:30～10:30	16歳以上。180円
栄養相談(予約制)	26	9:30～11:00	無 料
健康相談	16	9:30～10:30	成人を対象に医師による相談
胃がん検診(予約制)	4、7、9、14、18、21、25、28、%、% 予約受付中	9:00～10:30	35歳以上。1,000円
子宮(頸部)がん・乳がん検診	随 時	医療機関で診療時間内の午前中	30歳以上の婦人。子宮(頸部)がん1,000円、乳がん400円
大腸がん検診	19	9:30～10:30	40歳以上。採便容器を渡してとり方の説明 400円
歯周病講座	20	13:00～14:30	市内在住・在勤のかた。相談と検診。無料

県保健所 (国道2号業平橋東へ150メートル)

内 容	日 程	時 間	対 象・経 費 等
4カ月児健康診査(股関節脱臼検診併設)	14、28	13:00～14:30	元5.1～5.15生まれ 母子健康手帳持参 元5.16～5.30生まれ
3歳児心の検診	5、12、19、26、10/3	9:00～10:00	S61.9.1～9.6生まれ 母子健康手帳持参 S61.9.7～9.15生まれ S61.9.16～9.20生まれ S61.9.21～9.30生まれ S61.10.1～10.10生まれ
3歳児健康診査	7、21、10/5	13:00～14:30	満3歳～4歳未満児。母子健康手帳持参。尿検査あり
乳幼児歯みがき教室	6、10/4	13:00 開始	1歳6カ月児(0～6歳も可)歯ブラシ、コップ、母子健康手帳
歯科保健相談	6、10/4	13:45～14:15	乳幼児、妊婦、中高年、一般
乳幼児精神保健相談(予約制)	5、10/3	13:00～14:30	母子健康手帳持参
妊婦健康相談	1、8、22	13:00～14:00	無料。貧血検査等。母子健康手帳
一般健康相談	1、8、22	13:00～14:00	有料。診察、血圧測定、X線撮影、心電図ほか。車いすのかたは、事前に連絡ください
電送心臓検診		14:00～14:30	
精神保健相談(予約制)	28	9:30～10:30	精神保健に関する不安や心配等、専門医の相談
検便・水質検査	毎週月・火・水曜日	9:00～12:00	有料。特殊項目水質検査などは第1・第3水曜日
療育相談(予約制)	11	13:00～14:30	心身障害の心配のある子供。専門医、心理発達・福祉の相談

雨天中止



今年も、蟬(セミ)の音が賑やかだった。庭を徘徊していると、耳の中へはいりこんで、頭がしびれたようになる。窓を開ければラジオの音も聞こえない。

蟬(セミ)

平坂な声にまじって、熊蟬がシャア、アシャアと鳴く。

熊蟬はその鳴き声から、広島ではジャンジャン、福岡ではワシワシと呼ばれる。ウマゼミ、ヤマゼミという別名もある。油蟬と熊蟬の饗宴がおさまると、蝸(ひぐらし)が澄んだ声で、空気を揺さぶり、季節はゆっくりと秋への道をたどりはじめる。

(グループ・芦文)

市見ひろば

山を描いた画家 華岳の家いずこ

西蔵町 川井 吉一

日本画家村上華岳が京都を去って、芦屋に住むようになったのは大正十二年で、三十六歳の時であった。ところが昭和二年には前年死去した養父の家を継ぐため、神戸の花隈へ移って行ってしまう。華岳が芦屋に住んだのは四年ほどに過ぎなかった。

だがその間に大正十四年の「松山雲煙」の大作をはじめ、山を描いた数々の名作を残している。そのように山に心を打ち込んだ画家の住まいは芦屋のどのあたりにあったのだろうか。

いつか郵便局関係の人から、茶屋の町のハザマ耳鼻いんこう科の東の方だったと聞いたことがあるが、それ以上は

つきりしたことはまだ私には分からない。

もしもなにかご存じのかたがあればお知らせ賜り、近代のすぐれた画人華岳追慕の思いを癒(い)やしていただけないだろうか。

さわやかだった 精中サッカー部

松浜町 千葉純一郎

夏休みに入って間もなく、兵庫県中学校総合体育大会のサッカー阪神大会が伊丹スポーツセンターで行われた。芦屋市を代表して出場した精道中学校サッカー部は西宮市の上ヶ原中学校、尼崎市の小田南中学校、優勝戦では強豪西宮市の甲陵中学校を破り、三十二年ぶり二度目の栄冠に輝いた。

見事なチームワーク、練習で身につけた技術、強い精神力に大きな感動を覚えた。七十人を越す部

員の行動も立派だったし、指導者の冷静な指示、スタンドに陣取った保護者先輩らの熱い声援が一体となった和の勝利でもあった。

スポーツだけでなく学習や文化活動の面でも変化と向上の兆しが見えてきたことを心から喜ぶものである。芦屋の教育正

常化は学校、家庭、地域行政が相互に信頼を絆にして強く結び合う努力を着実に積み上げ、子供の無限の可能性を信じ、伸ばすことだと考える。

ヨドコウ迎賓館と 芦屋 津知町 久保田靖子

夏になると、激しく想う故郷に今年も帰れない。それで、こちらの古里をたずねたいとまず、ヨドコウ迎賓館へ行く。

城山を背に川と海の見え、残照を語つて、住民

▼ご投稿は、四百字前後で、原稿用紙のほか、はがきや封書でも結構です。▼住所・氏名・年齢・電話番号を記入のうえ、〒659 芦屋市精道町7-16 芦屋市役所公聴広報課「市民ひろば」係(☎2121内線27)へ掲載させていただきます。掲載料は、薄謝を贈ります。

でるような建築物である。アメリカ人ライトが、阪神間を歩いてこの地を定め、設計した日本の良き大正時代があたりには漂う。だが、日米の悲しい関係の時、ライトはどんな思いでこの建物の無事を祈ったのだろうか。戦火を免れ、本心に良かったと思う。

多くの人の願いがかたまって、今われわれが鑑賞できるのは、やはり、所有者の尽力が大である。通称は「旧山邑邸」であるが、お礼の思いで「ヨドコウ迎賓館」と言いたい。

続いて行った「芦屋戦争」は、この静かな地でおこったことの悲しさを、残照を語つて、住民

チーム随一のポイント・ゲッターの坂田君は、抜群のポ

ールテクニクと持ち前の駿(しゅん)足を生かして、相手の守備陣をけちらし、シュートを決めるフォワード。百八センチの長身の岩田君は、鉄壁の守りを誇る名ゴールキーパー。

惜しくも選抜には選ばれなかったものの、精中サッカー部には彼等以外にも多数の優れた選手がいる。

八月の炎天下で行われた「第二回芦屋市小中学生サマ

芦っ子

私の海
波がざぶりと音を立てて私を海にさそってくれる。魚がピシャッと波をはねて私を海にさそってくれる。魚が泳ぐと、私も泳ぐ。スイスイスイと、どこまでも海の中を、どこまでも山手小学校五年 西村 美恵子



伝言板

市民ハイキング
日時：9月10日(日)

果敢にヘディング攻撃をする 精道中学校サッカー部



中学生大会でも一年から三年まで完全優勝をはたし、チーム層の厚さを示した。スポーツを通じて学びつつ、忍耐力と協調性は、彼等の青春を輝かしいものにするであらう。

- 8時、雨天決行▼集合場所：阪急芦屋川駅北広場▼行き先：竜王山一摂津峡約13キロ一般向き▼費用：1000円▼持ち物：昼食、水筒、雨具▼問い合わせ：大山(☎1923夜間のみ)ぐれいす・ひうまん
- 「今!身近な食品を見直そう会」▼日時：9月3日(日) 13時30分▼費用：500円
- 「在宅ケアを考えるセミナー」▼日時：9月17日(日) 13時30分▼内容：介護者同士の交流▼費用：1000円
- 会場はいずれも、ぐれいす・ひうまんらしいふサロン(前田町10-3、☎7277)です。
- 芦屋ラグビー スクール生募集
- 練習日：毎週日曜▼対象：市内在住の幼・小・中学生▼会費：月500円▼申し込み：9月10日(日) 17日(日) 練習場で。児童同伴、印鑑持参のこと
- 問い合わせ：山村(☎7610)
- 非核平和都市宣言 4周年記念の集い
- 期日：9月30日(土)
- 10月1日(日)▼会場：市民センター(ロビー)
- 「A・30室」▼テーマ：命(ぬち) どう宝一沖繩の心を世界へ▼内容：映画、展示、講演会ほか▼問い合わせ：井口(☎8653)
- シェイプ・アップ グループ「二期の会」
- 日時：第2・4火曜日 12時14時30分▼会場：体育館・青少年センター武道場▼対象：30歳以上の女性▼内容：肥満予防のための栄養学習・運動全般▼費用：3000円(2ヵ月)▼申し込み：寺本(☎8228)
- ▼「芦屋今むかし」写真展が好評のうち
- に九月四日閉幕を迎えます。▼来秋の「市制五十周年記念写真集」(仮称)に使用する古い写真の提供を呼びかけるネライでしたが、日刊五紙に掲載されたり、NHKテレビでも放映されるなど、その反響の大きさに驚いています。▼写真提供の申し出と併せ人力車が走る芦屋公園の写真と、書家・上羅芝山先生の題字が受けたのか、ポスターのもらいがかかると、喜びを胸に、編集に入りまして。(K)

ナイス! ストライク!! 消防団員家族ボウリング大会



芦屋市消防団は、家族の日ごろの労苦に感謝して、八月二十日(日)「消防団員家族のつどい・ボウリング大会」を、芦屋東洋ボウルで行いました。

残暑きびしい一日でしたが、この日は小学生からおじいちゃん、おばあちゃんまで、約二百二十人が福引きにゲームにと楽しい一日を過ごしました。分団対抗試合では、白熱したゲーム展開を見せ、見事、打出分団が優勝を飾りました。

アコちゃんだより
楽しい話題、ユニークな活動を紹介します。



上がれ上がれ ぼくらのバルーン

芦屋三大まつりの一つ「芦屋サマー・ニバル」が八月四日から三日間にわたって開かれ、延べ八万人の市民が参加しました。とくに、今年はJR芦屋駅周辺・ラポルテ広場を「市民ふれあい広場」として開放し、大声コンテストや吹奏楽やジャズバンドの演奏など多彩なイベントが繰り広げられました。

ラポルテ・デッキでは、スカイアーチストの吉田稔郎さんの指導によって制作された黒いビニールのバルーンが、夏空高く舞い上がっていました。

